

# 平成16年度決算

平成16年度決算が市議会9月定例会で認定されましたので、主な内容をお知らせします。なお、詳細は、市役所の情報コーナー、図書館でご覧になれます。

## 決算全体

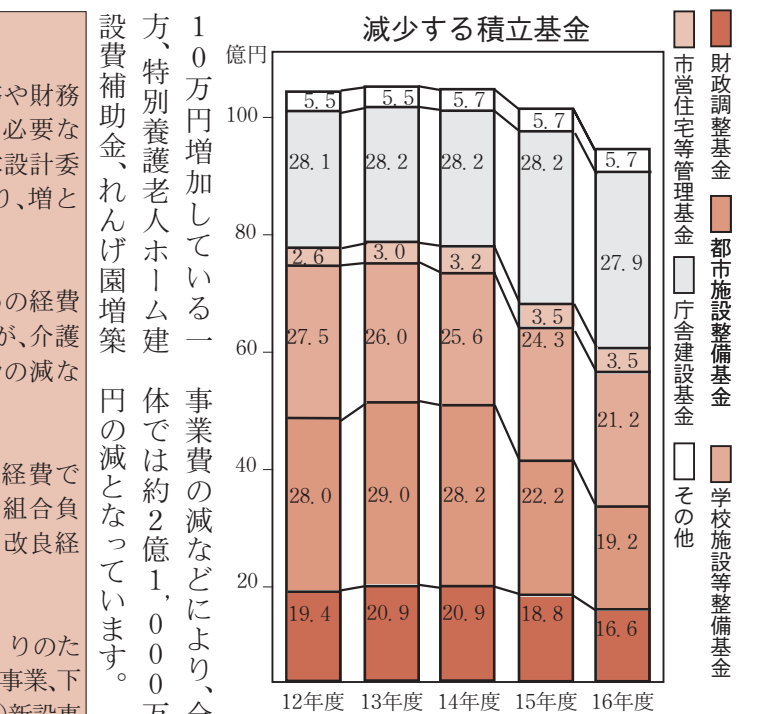
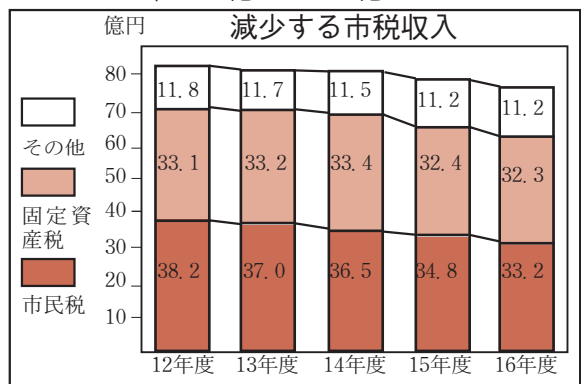
平成16年度の一般会計決算額は、左の表のとおりとなりました。

歳入額は前年度に比べて3・4%の増、歳出額は2・8%増となっていますが、16年度に市債の借換え(高金利の市債元金を返済し、同額の市債を借りること)をし、この借換分を除いた実質比較では、歳入が2・7%の減、歳出が3・5%の減となっています。

また、15年度からの繰越金を除いた16年度の収支差

引額(単年度収支)は1億5,588万1千円ですが、財源不足のため財政調整基金(家庭では預貯金を2億2,000万円取り崩しています)の収支差引額は約6,400万円の赤字となっています。

## 一般会計



## 特別会計

特別会計の5会計の決算は、左下の表のとおりです。

特別会計の決算額は、全体で歳入が131億2,800万7千円、歳出が130億9,617万9千円、6,000万7千円の赤字決算となっています。

が、国民健康保険特別会計が給付費の増により、歳出額で前年度と比べて2・5%

**歳入(収入)の主な増減**

- 市税▷1億6,485万3千円、2.1%減  
市民税の個人分、固定資産税が減額となっています。ピーク時の9年度との比較では約10億円の減少です。
- 地方譲与税▷1億1,033万5千円、86.4%増。  
国の三位一体の改革に伴う国庫補助負担金の削減に対する税財源の移譲として所得譲与税が創設された結果、地方譲与税が増えています。
- 地方交付税▷4,258万9千円、1.8%減  
自治体が一定のサービス水準を維持できるよう交付されるもので、市税の減などにより普通交付税は増加していますが、国予算の減等に伴う特別交付税の減などにより、全体では減となっています。ピーク時の12年度との比較では約11億円の減少となっています。
- 国庫支出金▷3,698万1千円、1.1%増  
大規模建設事業分や保育所運営費公立分などの補助金が減少していますが、対象年齢の引上げによる児童手当負担金の増、生活保護費負担金の増などにより、増となっています。
- 都支出金▷7,435万9千円、3.5%減  
柳通り拡幅事業費の減、保育所運営費公立分補助金の削減などにより減少となっています。
- 市債▷13億1,340万円、100.3%増(実質6,850万円、5.2%減)  
施設の建設や用地買収など多額の事業をするための借入金や減税による市税の減収分を埋めるための住民税等減税補てん債、国の財源不足に伴う普通交付税の減を補うための臨時財政対策債などの長期借入金で増となっているが、市債の低利への借換分13億8,190万円を除くと、減少となっています。
- 繰入金▷4,900万円、4.8%減  
基金等からの取崩しなどの収入で、建設事業に充てるため、都市施設整備基金から3億円(3億円減)、学校施設等整備基金から3億400万円(1億7,400万円増)、また、財源不足を補うため財政調整基金から2億2,000万円(1,000万円増)などを繰り入れました。
- 繰越金▷3億1,386万9千円、53.6%減

**歳出(支出)の主な増減**

- 総務費▷1億1,179万4千円、4.9%増  
交通安全対策費や町会関係費のほか、税務事務や財務・会計事務をはじめ、企画・広報など、行政運営に必要な経費が含まれています。新庁舎建設のための基本設計委託料、市営駐車場立体化整備事業費などにより、増となっています。
- 民生費▷2億1,008万2千円、2.6%減  
高齢者・障害者・子育て支援・その他福祉のための経費です。児童手当や生活保護費は増加していますが、介護保険施設建設費補助金や障害者施設増築事業費の減などで全体では減となっています。
- 衛生費▷556万9千円、0.2%減  
保健衛生や環境対策、ごみ処理などのための経費です。西多摩衛生組合・三多摩地域廃棄物広域処分組合負担金などは増加していますが、健康管理システム改良経費の減などで全体では減となっています。
- 土木費▷6億5,279万9千円、16.5%減  
道路建設や公園整備、土地区画整理などまちづくりのための経費です。福生駅東口の都市再生交通拠点整備事業、下の川緑地新設事業などの完了、原ヶ谷戸緑地(仮称)新設事業の用地買収の終了などにより減となっています。
- 消防費▷1,273万円、1.4%増  
消防事業の東京都への委託費や消防団経費、災害対策費が主なもので、耐震性貯水槽新設事業費の増など。
- 教育費▷569万7千円、0.2%増  
教室の充実や文化・スポーツの振興のための経費です。二中ランチルーム等整備事業や中学校昼食業務委託料の増などにより、増となっています。
- 公債費▷13億5,330万5千円、116.0%増(実質2.5%減)  
市債(長期借入金)の元金を返済するために必要な経費。市債の低利への元金借換分13億8,190万円を除くと、2,859万5千円の減となっています。

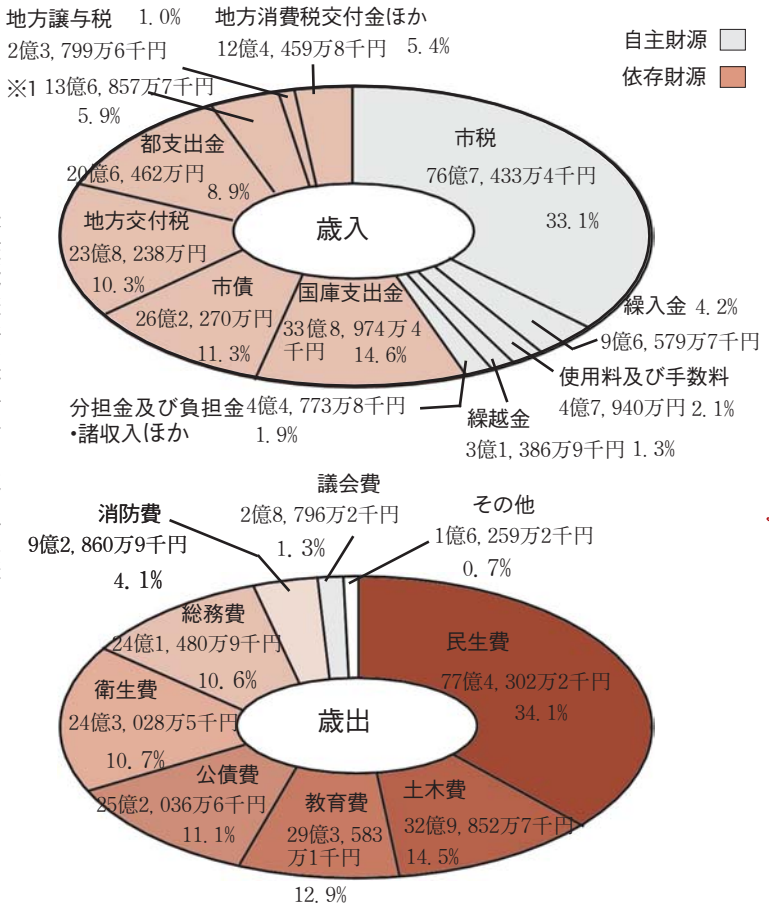
| 会          | 計歳入 決算額       | 計歳出 決算額       | 残額(翌年度繰越額) |
|------------|---------------|---------------|------------|
| 国民健康保険特別会計 | 48億1,531万4千円  | 48億7,582万1千円  | △6,050万7千円 |
| 老人保健医療特別会計 | 33億3,933万7千円  | 33億2,917万2千円  | 1,016万5千円  |
| 介護保険特別会計   | 24億7,750万3千円  | 24億4,673万9千円  | 3,076万4千円  |
| 下水道事業会計    | 20億 326万9千円   | 19億5,118万3千円  | 5,208万7千円  |
| 受託水道事業会計   | 4億9,326万4千円   | 4億9,326万4千円   | 0円         |
| 合 計        | 131億2,868万7千円 | 130億9,617万9千円 | 3,250万9千円  |

※国民健康保険特別会計の残額△6,050万7千円については、平成17年度予算から繰上充用を行った。△はマイナスを表します。

**入ってきたお金** (歳入)231億9,175万3千円→前年度より3.4%増(実質は2.7%減)

**使ったお金** (歳出)227億2,200万3千円→前年度より2.8%増(実質は3.5%減)

**差引額** 4億6,975万円(実質的な単年度の収支差し引きは約6,400万円の赤字)



※1 国有提供施設等所在市町村助成交付金等

※対前年度比較

%の増、介護保険特別会計が同じく14・6%増加し、厳しい運営状況となっています。特に国民健康保険特別会計では、16年度の歳出額が歳入額を上回り、6,000万7千円の赤字決算となっています。